

授業科目 精神保健福祉援助実習

【担当教員名】 近藤 あゆみ、松本 京介	対象学年	4	対象学科	社会
	開講時期	前期・後期	必修・選択	選択
	単位数	6	時間数	270（うち現場実習180時間）

【概要・一般目標：GIO】
現場体験を通して精神保健福祉士として必要な専門知識・技術ならびに関連知識の理解を深め、精神障害者への相談援助及びリハビリテーションに関する資質・能力・技術を習得する。

- 【学習目標・行動目標：SBO】
1. 精神障害者の支援に必要な保健・医療・福祉の総合知識を統合的に理解できる。
 2. 精神科病院、社会復帰施設、保健所、精神保健福祉センターなど、実習先に関する事前学習を行い、それぞれの根拠法令、対象者、機能、職員構成などについて把握できる。
 3. 実習目標とそれを達成するための具体的課題・方法を明確化することができる。
 4. 配属先において精神障害者がおかれている現状を理解し、その生活の実態やニーズについて把握するとともに、職員の役割と援助関係のあり方並びに関係者・機関・社会資源との関わりについて理解することができる。
 5. 秘密保持や権利擁護などの職業倫理に基づいた行動を実践し、精神保健福祉援助の価値・倫理を具体例を通して理解できる。
 6. 実習体験をもとに実践場面における態度・行動を客観的に振り返り、自己の課題を明確化することができる。

回数	授業計画・学習の主題	SBO番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
	【オリエンテーション】	1～3	全体指導
	【事前学習】 精神保健福祉に関する基本的な理解 実習先の理解 見学学習（精神科病院・社会復帰施設） 個人票作成 実習課題の検討と達成課題の確認 実習計画書の作成 実習における心構え・留意点	1～3	全体及び個別指導
	【現場実習】 5月から9月 （配属先 及び 日程は別途伝えます。）	4,5	担当教員による巡回指導
	【事後学習】 実習目標の達成度の評価 実習内容の振り返り 解決すべき自己の課題の整理 精神保健福祉士としての基本姿勢・技術の学習を深める	6	全体及び個別指導
	【実習報告会】 12月	6	発表、討論

【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)				
参考書	実習生のためのPSW実習ハンドブック	牧野田恵美子他編集	へるす出版	2002・3,000円＋税
その他の資料				適宜、配布する。

【評価方法】 事前・事後学習の出席状況、授業態度、配属先の実習状況、実習ノート、その他提出物の提出状況などに応じて総合的に評価する。	【履修上の留意点】
---	-----------